



会報シルバー
たからづか

第 **152** 号

平成30年7月15日

編集発行：公益社団法人 宝塚市シルバー人材センター 広報委員会
〒665-0827 宝塚市小浜2丁目1番1号 TEL. 0797(81)7000 FAX. 0797(81)7040

宝塚の風物

万年坂の地蔵石仏

雲雀丘から満願寺へ向かう途中の通称万年坂にあるこの地蔵石仏は、花崗石の中に二重光背を作り、その中に彫り込んだものである。鎌倉時代後半に作られたものと思われ、市内最古の地蔵像で市指定の文化財になっている。

(撮影) 広報委員/今榮 満志



平成30年度定時総会

公益社団法人

宝塚市シルバー人材センター

理事長 古村 宏太郎



平成30年度
の公益社団法人
宝塚市シルバー
人材センターの
定時総会を開催

いたしましたところ、会員の皆様には何かとご多忙の中このように多数のご出席をいただきまして誠にありがとうございます。

また、ご来賓としてお越しただきました宝塚市長中川様、兵庫県阪神北県民局政辻副局長様、宝塚市産業文化部福永部長様には公務ご多忙のところ万障お繰り合わせの上ご臨席を賜り誠にありがとうございます。

ご来賓様には平素から当センターの運営に格段のご理解とご支援をいただいておりますこと心から厚く御礼申し上げます。

さて、我が国の平均寿命は男性が81歳、女性が87歳となり人生が長くなり、何らかの活動で、社会参加しつつ、社会を支え続けることが大切になっております。長い人生を有意義に過ごすには年齢に関わらず仕事や社会活動、あるいは趣味の活動や学び直しなど、切れ目なく行えるようにすることが重要になっております。

そのような状況下、兵庫県においては「ひょうごこ生涯現役促進事業」を立ち上げ、企業の人手不足の対策として労働局と連携を密にし、高齢者の就労を促進するため、高齢者就労相談窓口を設置する事とされています。人口減少社会において持続可能な行財政構造を構築するには社会の担い手を増やすことが不可欠で高齢者の更なる就労が不可欠であるとされています。

そうした中、当センターにおいては永年にわたって特命随意契約で受託してきました市立自転車等駐車場の指定管理業務が無くなり、多くの会員の就業機会を失う事と

なり、今後のセンター事業の運営に重大な影響を及ぼしております。しかし、当センターとしては、

今後も公益社団法人として、より一層公益性に配慮した事業運営に加え、就業機会の拡大と新規入会者の増強を図るとともに、地域に密着した事業を推進するため、地区・地域班による地域貢献活動を始め、子育てへの支援事業や、高齢者の生活援助サービス事業などの拡充・強化を図り、力強い発展を目指して参ります。

また、会員互助会事業につきましては会員の自立した組織運営の下、センターの目的達成に向けて、会員相互の親睦と連携意識の高揚福祉の増進を図るため、各種事業の効率的運営に努めて参ります。

なお、本日の総会には各議案、また報告事項等上程致しますので、慎重審議のうえご承認を賜りますよう、よろしくお願い致します。

結びにあたりまして、私たち公益社団法人宝塚市シルバー人材センター会員は、今後とも常に社会的責任を忘れることなく、「自主・自立・共働・共助」の基本理念の下に、「親切・丁寧・誠実」をモットーにしつつ、安全就業を心がけ、

市民の皆様方の益々の信頼と期待に応えていただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、本日ご出席の皆様方の益々のご健康とご多幸を心からご祈念申し上げます。開会にあたってのご挨拶とさせていただきます。

◆定時総会次第

5月29日(火)、午後1時より宝塚ホテルにて開催され、正会員数939名中、出席会員は144名、委任状555名、計699名が出席し、総会の成立が確認された。

総会は理事長挨拶の後、来賓として宝塚市長中川智子様、兵庫県阪神北県民局副局長政辻孝克様よりご祝辞をいただいた。

表彰では、永年会員20年および10年表彰と会員特別表彰(ボランティア)が行われ、議事に入り報告事項、決議事項等原案通り承認可決された。

なお、公務のためご出席いただけなかった宝塚市議会議長北野聡子様には鄭重なメッセージをいただいた。

ご来賓祝辞

宝塚市長 中川 智子



宝塚市シルバ
ー人材センター
平成30年度の
総会のご盛会を

心からお慶び申し上げます。そして、表彰を受けられました皆さま、おめでと〜うございます。

さて、先日、NHKの番組で「シルバー人材センターに異変が」というテーマで1時間ほどの特集番組がありました。一つには労働力不足が非常に深刻な状況になっているという内容であり、高齢者の働き方や、定年の問題、そして外国人労働者を受け入れるためにもどのような法律を準備しているかということでした。

外国人労働者は、日本よりも台湾などに近年働く場を移しているようです。日本では外国人労働者が働きに来ても在留資格により、社会保険や労災の適用が変わって

しまう、そして技能実習という名目で来ると、3年から5年経った後、母国に帰らなければいけない。その点、台湾などは、15年くらいは働くことができ、その労働力が生かされるよう法律が整備されている。日本では法律が外国人労働者の受け入れを妨げている、ということでした。

もう一つはシルバー人材センターに依頼される仕事に「きつい、危険、汚い」という、いわゆる3Kの仕事が増えてきていて、その中で起きる事故なども深刻になっている、ということでした。

私の友人は長野県でホテルの掃除をしているのですが、布団を高い所にかたづけるときに、三脚から落ちて膝を複雑骨折、手術ができず半年ほど仕事ができない事態になりました。休業補償などがなく、少しばかりの貯金を崩しながら半年生活していたそうです。仕事の依頼はあっても高齢者にはふさわしくない仕事が増えていく。働くことで自分自身の健康も保つという仕事はどんどん減ってきている。シルバー人材センターの今は過渡期であり、節目だということとを報道していました。

宝塚市ではエイジフレンドリーシティの取り組みを実施しています。高齢者が住みやすいまちは、誰にとつても、どの世代にとつても住みやすいまちであると考えています。

東京大学の研究チームが千葉県柏市において、エイジフレンドリーシティのモデルとなるまちづくりを進めていて、宝塚市もそのような形で進めていきたいと思っています。

今後、高齢者が増加し日常生活に不便を感じる人が増える中で、生活上不便な仕事を市民から発注していただく、それに対し、シルバー人材センターが仕事として取り組んでいく。加えて、その取組を市民にしつかりと知らせていくことができれば、全ての世代が「住みやすいまち」へなっていくのではないのでしょうか。そして宝塚のまちを「終の棲家」として感じて頂ければ、こんなに嬉しいことはありません。

高齢化の進行により、生活上の不便さ、課題が色々な形で出てきます。例えば、介護施設では傾聴というのがとても大切になってきます。認知症の方々のお話をじつ

くりと聴けるのは、人生経験が豊富な高齢者の方であると思います。

このような、今後対応していかなければならない、生活上の課題や地域の課題に対し、働きたい人、働ける身体を持っている人や、その思いがある人に働いてもらえるようにシルバー人材センターと市とが、今以上に連携を強くしていくことが必要だと認識しています。シルバー人材センターと市でしっかりと協力しながらいろいろな「働き」を作り出し、そして働き続けることで、健康につながっていくようなエイジフレンドリーシティを、宝塚語に訳すと『お互いさま』があふれるまち』を作っていきたいと思っております。

シルバー人材センターの皆様ご期待をされるころ大でございませ。これからもお元気で一緒に、皆さまがいきいきと暮らせるような宝塚市となりますように、ご協力を心からお願いを申し上げます。本日は総会おめでと〜うございます

兵庫県阪神北県民局

副局長 政辻 孝克



皆様こんにちは。

今日は平成30年度の宝塚市シルバー人材センター定時総会がこのように盛大に開催されますことをお慶び申し上げます。また、栄えある表彰を受賞されました皆様、誠にありがとうございます、心からお祝いを申し上げます。

古村理事長をはじめ宝塚市シルバー人材センター会員の皆様には、平素から兵庫県政、とりわけ阪神北県民局の様々な施策の推進にご理解とご協力を賜り、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

さて、我国が直面している最大の課題が少子高齢化、そして人口減少社会への対応です。この阪神北地域においても平成25年1月をピークに、人口は減少に転じています。特に進学や就職を機に二十歳代の転出超過が顕著となる一方で、65歳以上の高齢者人口の割合は、本年2月に27.2%まで高まっています。こうした中で、地域社会が活力を維持していくため

には女性や若者の活躍はもちろんですが、元気な高齢者の方々が生涯にわたって活躍できる環境を整えていくことが何よりも重要であります。

宝塚市シルバー人材センターは昭和57年に設立され、これまで高齢者の就業の機会確保に向けて幅広い事業を展開されており、会員の皆様それぞれの豊かな経験や知識を活かしながら、働くことを通じて、生きがいづくりとともに地域社会に大きく貢献されていることは誠に心強い限りです。

本県におきましても兵庫県シルバー人材センター協会が行う市町を超えた広域的な受注開拓や安全就業の取り組みを支援しているところとす。

また今年度より、県下8ヶ所のシルバー人材センターと各県民局・県民センターに高齢者の就労相談窓口を設け、求人開拓や求人情報の提供を行うほか、高齢者が起業する場合には事業の立ち上げを支援するなど、個々の就労ニーズに応じた多様な働き方の実現に向けて取り組みを進めています。

近年、個人と地域の関わりの希薄化が進み、地域社会の機能が低

下したとも言われていますが、「自主・自立、共働・共助」の理念の下に、活動を続けてこられた宝塚市シルバー人材センターの会員の皆様が地域社会の中核を担う存在として、引き続きその力を發揮していただくことを期待しています。

今年、兵庫県では明治維新から150周年の節目の年を迎えました。これまでの歴史の営みを振り返り、新しい兵庫づくり、地域づくりを考える機会とするために来年3月まで県下各地で多彩なイベントや行事を開催いたします。是非お近くで開催されるイベントにお気軽にご参加いただければ幸いです。

最後になりますが、宝塚市シルバー人材センターの今後益々のご発展とともに会員の皆様のご活躍を祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。



▲定時総会の様子

平成30年度 事業推進について

常務理事兼事務局長

木本 丈志



5月29日(火)の定時総会には多数の会員の皆様のご出席をいただき、また上程いたしま

した各議案につきましては、すべて承認可決いただき誠にありがとうございました。うございました。

平成30年年度事業計画について報告いたします。

基本方針

昨年、ソリオホールで開かれた東京大学高齢者問題研究機構の秋山先生の講演会で、今後人生100年時代を見据えた生涯現役社会の実現に向けて「働く、学ぶ、遊ぶ、休む」という4つの組合せで人生設計を作り直していくこと、また、「栄養、運動、社会参加」の3つの

柱で健康長寿を目指していくといったフレール予防(虚弱予防)が最近よく言われている、と話されてきました。

当センターもそういった取り組みを推進していきたいと考えております。

重点施策と推進方針

(1) 情報の収集と提供

あらゆる機会を通じて、センター事業に関する地域のニーズと関係機関等の情報収集に努め、これらの情報は会報等を通じて、適宜・迅速に提供して有効活用を図ります。

(2) 就業調査と研究

地域のニーズや制度改正等に対応できるよう、請負、委任、派遣、職業紹介を正しく区分した就業形態による働き方の違いなど、適正就業ガイドラインに沿った就業機会の提供や日常生活支援総合事業等の、会員が一層活躍できる就業拡大の推進を図る調査と研究に努めます。また、引き続きお客様利用満足度調査を実施します。

(3) 就業相談の実施

相談窓口を引き続き設置し、入会案内、就業相談、各種講習会の案内等を実施します。また、ハローワーク等のシニアワーカフェアにも参加します。

(4) 就業機会の確保と提供

事業開拓委員会、地域班等センターの組織を挙げて普及啓発促進月間を設けた事業展開等、就業機会の確保と提供の拡大を図る取り組みを進めます。

(5) シルバー派遣事業及び職業紹介事業の実施

公益社団法人兵庫県シルバー人材センター協会の実施事業所として緊密な連携を図りながらシルバー派遣事業を実施します。

派遣の目標としては昨年度2501人日以上でしたが今年度は拡大し3001人日以上としています。

(6) 会員の資質と技術の向上

接遇研修等、各種講習会等を開催して資質と技術の向上を図ります。

また、29年度より開始した。パソコン講座も引き続き実施します。

(7) 会員の拡大と確保

現在、会員数は1000人を割り込んでいる為、有料広告等の活用や夫婦会員の入会促進や女性会員の活躍の場を推進するための検討会を引き続き開催してまいります。

(8) 安全・適正就業の推進

「安全はすべてに優先する」を合言葉に安全委員会を中心に事故防止と安全意識の高揚を図ります。また4月からペナルティ制度(就業制限等)に関する実施要領の運用を開始しております。

(9) 組織・財政基盤の強化と連携

公益社団法人としてボランティア等を通じた地域社会への貢献活動を促進し魅力あるセンターづくりのためボランティアポイント等を取り入れた会員組織の活性化に取り組みます。

表彰

◎ 永年会員表彰(20年)



▲永年会員20年表彰おめでとうございます

◎ 永年会員表彰(10年)



▲永年会員10年表彰おめでとうございます

◎会員特別表彰(ボランティア)



▲会員特別表彰おめでとうございます

★損害事故 2件

●損害事故①

●内容…機械除草作業中、石が飛散し停車車両のフロントガラスを破損させた。なお、作業範囲が局所であった為、飛散防止措置を怠っていた。

●注意点…機械除草作業の際は、

周囲の状況を十分に考慮した安全対策を実施したうえで作業を行うこと。なお、安全対策を怠った案件であった為、今年度から運用された「就業制限等に関する実施要領」に基づき、作業会員に対して嚴重注意を行った。

●損害事故②

●内容…機械除草作業中、石が飛散し住宅のガラスを破損させた。

●注意点…機械除草作業の際は、石の飛散方向や範囲に十分に考慮した安全対策を実施したうえで作業を行うこと。

●4月～5月の事故内容

平成30年5月末現在

前年度	平成30年度	損害 傷害
2件	2件	
0件	0件	傷害

安全委員会だより

◆高齢者自転車競技大会

4連覇達成!

5月18日(金)、午後1時30分～4時30分、市立末広体育館および中央公民館にて第14回宝塚市交通安全高齢者自転車競技大会が行われた。

当センターからは4名が「シルバー安全チーム」として参加。

平素からの安全意識のもと競技に集中し、見事4連覇を達成した。

今後、本チームは9月14日(金)、に開催される県大会に出場予定。
(安全委員会)



▲競技の様子



▲競技の様子



▲4連覇達成おめでとうございます

◆安全宣言

5月31日(木)、開催された安全委員会において昨年に引き続き今年も事故ゼロを目指し「安全宣言」を提言した。

安全宣言

私たちは、公益社団法人宝塚市シルバー人材センターの会員として、「安全は全てに優先する」を最重要課題とし、全会員が一丸となって「事故ゼロ」を目指し、安全就業に努めることをここに宣言します。

- 一、事故から身を守るために必要な知識・技能を自ら身につけ、絶えず安全意識の高揚に努めます。
- 一、「安全の確保は自らの責務である」ことを自覚し、安全就業基準の遵守を徹底します。
- 一、日常の健康管理に十分留意し、健康の増進に努めます。

平成三十年五月三十一日

公益社団法人宝塚市シルバー人材センター 安全委員会

平成30年度 安全・適正就業強化月間

7月1日～31日の1ヶ月間は「安全・適正就業強化月間」です。「事故防止、急ぐな、あせるな、気を抜くな」の全国統一安全スローガンを常に意識して事故の無いように安全就業に努めましょう。

◎実施目的

我が国の少子高齢化が進展し、且つ長期人口減少過程に入っておりシルバー人材センター事業の重要性と地域社会の期待はより一層大きなものになっている。また、適正就業においては、業務の受注及び会員の就業について、行政からの指摘・指導も絶えないところである。このことを受けて、7月を「安全・適正就業強化月間」と定め、安全・適正について全ての会員、役員が個人そして組織全体の問題として捉え事故の撲滅と受注および就業形態の適正化を図り、「安全・安心」なシルバー事業の一層の展開を図ることとする。

◎期間中の取り組み事項の概要

- ①安全・適正就業委員会を開催し、「安全・適正就業対策基本計画」の策定および事故の要因分析と具体的な防止策の徹底
- ②重篤事故につながる就業の見直し
- ③ヒヤリ・ハット体験事例を収集し、要因分析、事故防止の徹底
- ④損害賠償責任保険事故の防止
- ⑤就業途上における交通事故の防止
- ⑥安全就業対策の総点検の実施
- ⑦安全適正就業の研修および点検
- ⑧適正就業ガイドラインに沿った業務運営の実施
- ⑨会員からの安全標語の募集、掲示などによる安全意識の徹底
- ⑩会報等への安全意識啓発のための特集記事の掲載
- ⑪会員に対して安全意識啓発および情報の共有化を図るための資料等の配布
- ⑫月間中に「安全意識高揚の日」の設定および安全表彰の実施

講習会報告

◆安全講習会開催

6月7日(木)、午前10時30分から12時まで、当センター3階大会議室にて、「刈払機の注意及び屋外作業の安全確保」をテーマに、有限会社奥田商店取締役萩原啓介氏を講師に迎え、河川美化事業就業予定会員を対象に実施した。会員8名参加。

◆パソコン教室を開催

6月18日(月)及び20日(水)の両日、当センター小会議室にて「平成30年度第1回パソコン教室」を開催した。

講師に元勤労市民センターパソコン教室講師を務めていた高野学氏をお招きし、90分単位の入替制の講座を計6回実施し、5名のボランティアの協力を得て、27名が参加した。

今回は前回より少しレベルアップした内容となっていたが、受講者は実用的な一般文書を、文字入力、ペーjレリアウトの設定、編集作業などに取り組み、プリンターで印刷まで行った。

地区地域班だより

同好会だより

◆良元2の2地域班

周辺道路など清掃活動

6月11日(月)、9時〜10時30分まで、市立西公民館周辺道路の清掃活動に6名が参加。タバコの吸殻、空き缶などを回収した。

◆良元3の2地域班

宝塚街歩きハイキング

5月17日(木)、午前9時30分〜午後2時30分、「宝塚街歩き(小浜宿)親睦ハイキング」を開催した。当日は天候にも恵まれ、絶好のハイキング日和に誘われて8名が参加した。

小浜宿は、歴史がありお寺や神社等見所も多く、制札場跡、小浜宿資料館を見学。また、旧和田家住宅では座敷で詳しい説明を受けた。

宝塚南口駅までの帰りの道のりは心地よい疲労感に包まれ、有意義なハイキングであった。

◆一喜会ゴルフコンペ

3月9日(金)

宝塚高原ゴルフクラブにて、24名参加。

優勝 前山 龍彦

準優勝 上霜 進

3位 西村 文伯

6月8日(金)

旭国際宝塚カンツリー倶楽部にて、23名参加。

優勝 中川 久義

準優勝 瀬戸内 雄次郎

3位 西村 文伯

なお、次回コンペは9月7日(金)、大宝塚カントリークラブにて開催予定です。

◆「サークル・いきいき会」

5月24日(木)、午後1時30分〜4時まで、当センター3階会議

室にて3回目の「サークル・いきいき会」を永年手品のボランティアで活躍されている片田豊清さんをお招きして開催した。

1本のロープを切っても切っても1本のロープに戻る手品や、トランプを使った手品、5色の小さな布があつという間に1枚の大きな5色の布に変わる手品など、楽しい話術を交えながら、次から次へと繰り広げられる手品の数々に皆拍手喝采。

とても86歳には見えない片田さんの若さの秘訣をうかがうと「手品を皆さんに楽しんでもらうのが私の幸せ。そのためにいつまでも健康でいたいので毎朝30分のストレッチとマツサージを日課に頑張っています」とのこと。

手品の不思議な世界に引き込まれ、種明かしに驚き、ウラ話に笑いと感動に包まれた楽しいひと時でした。

当サークルでは、毎月、第4木曜日の午後1時30分からセンター会議室において、「いきいき百歳体操」を行っています。ご興味のある方は、動きやすい服装と靴で、お気軽にお越し下さい。

(広報委員/中嶋諒子)

事務局だより

◆トライやる・ウィーク

5月21日(月)〜5月31日(木)の間の6日間、市立教育総合センター3階調理室にて、宝塚市立中学校2年生の授業の一環として行っている「トライやる・ウィーク」(職業体験学習)が実施され、当センターは2校35名の中学生を受け入れ料理体験学習を行った。

当センター女性会員5名による指導のもと、レシピを参考に太巻き寿司、ちらし寿司、すまし汁の3品を作った。互いに協力しながら作る楽しい料理体験学習であった。

(広報委員/中嶋諒子)



▲鮮やかに繰り広げられる手品に魅了

会 員 数	932名
(男性会員数)	701名
(女性会員数)	231名
入 会 者 数	26名
退 会 者 数	46名
平 均 年 齢	73.2歳

◆**会員の状況(5月末現在)**
 入退会者は4月～5月



▲おいしく出来あがりしました

配 分 金

支払い日のお知らせ

7月就業分 8月15日(水)
 8月就業分 9月14日(金)
 9月就業分 10月15日(月)

☆お願い

就業報告書の提出は、就業完了後、または翌月の3日までに提出するようお願いいたします。

☆チラシ配布就業人員募集

事務局では、チラシなどの配布ができる方を随時募集しています。就業可能な方は事務局に「希望会員アンケート」を備えていますので、事務局窓口までお越しください。

会員のひろば

川 柳

その笑顔しんからつかれほぐすのね

♥ 富吉 博彦

我慢して似たもの夫婦らしい顔

♥ 織山 茂

俳 句

独酌で菜はこれと冷奴

♥ 川嶋 兼雄

山峡の風と遊ぶや蕎麦の花

♥ 中嶋 諒子

小手鞠のような紫陽花七変化

♥ 西口 佐代子

夏落葉輝き生きし人つれて

♥ 橋本 千津子

うつつと過ぐるやひと日梅雨明けす

♥ 羽山 淳子

五寸切やまたも冷酒そそぐなり

♥ 丸山 長資

家屋飲み荒れて牙むく送り梅雨

♥ 安井 修

真夜中に二度二度起き初笑い

♥ 柳澤 義昭

編集後記

定時総会では様々な長寿社会への取組みについてのお話がありました。そして、人生100歳時代が目前にきていることが伺えます。▲平均寿命は男81歳、女87歳ですが、あくまで平均であり、それより長命の人もいることになりました。100歳以上人口は、昨年度全国で6万7千人以上と厚生労働省は発表しています。▲当センター会員の平均年齢は73歳であることを考慮すると、これから27年以上の人生を過ごす会員の方がいらっしゃるようになります。晩年の数年間は「健康でない期間」がありますが、この期間を如何に短くするよう努力をすることが大切になってきています。▲健康で100歳まで過ごす為にも、就業を通じて健康増進の一翼を担っているシルバー人材センターの役割は更に重要性を増してくるでしょう。会員の期待するところ大であります。▲人生のスローダウンをどの様にやり遂げるか、最後良ければすべてよし、としたいものです。

(広報委員/今榮 満夫)

シルバー世代の健康管理

— 熱中症に注意しよう —

梅雨が明けると猛暑の日が多くなり、熱帯夜が続きます
熱中症の予防と共に、暑さに負けない体力づくりに努めましょう

◆エアコンを活用しよう

高齢者は暑さで体力が低下します。エアコンを上手に使っていきましょう。

◆屋外での作業は日陰の活用や帽子を着用しよう

暑い環境に長時間さらされると危険です。特に梅雨が明けると頃は身体が暑さに慣れていないので要注意。

◆水分・塩分を補給しよう

喉が渇く前にこまめに水分を補給しよう。塩分なども汗で失われるので同時に補給しよう。

◆暑くなる日や湿度が高くなる日は要注意

猛暑日や湿度が高い日は汗の蒸発が妨げられ、体温が上昇しやすくなります。涼しい場所で過ごそう。

◆「おかしい!？」と思ったらすぐ病院へ

めまい、頭痛、吐き気、倦怠感などの症状から熱中症を疑ったらすぐ医療機関に相談しよう。

◆周りの人にも心配りを

外で作業をしているときなど、周りの人の様子などにも気を配りましょう。

日常でお困りのことはシルバー人材センターにご相談ください

高齢者の知識と経験を活かして、様々な仕事をお引き受けしています。依頼内容によっては対応できない仕事もありますので、まずお電話でお問い合わせください。TEL 0797(81)7000

- ・ **家事援助サービス** 室内清掃、窓ガラス・網戸などの清掃、食事の支度・洗濯、お部屋内の片付けや衣替え、ゴミステーションの掃除、買い物など
- ・ **子育て支援サービス** お子様とお留守番、子どもの一時預かり、シルバー出前サービス
- ・ **お庭の手入れ** 植木剪定・施肥、植木の水やり、雑草刈り(機械・手刈り)
- ・ **家屋の手入れ** 網戸の張替、障子・襖の張替、簡易な大工仕事・塗装など
- ・ **事務サービス** あて名・賞状書き、ワープロなどでの原稿づくり、パソコン操作指導など
- ・ **空き地・空き家管理事業** 空き地・空き家を敷地の外側から現状確認を行い報告するサービス

シルバー人材センター会員募集 就業などを通じて社会参加しませんか?

シルバー人材センターの会員になるには

◎会員の条件

宝塚市在住の60歳以上の健康で働く意欲のある方で、シルバー人材センターの趣旨に賛同していただける方。

◎入会方法

入会説明会は毎月第4月曜日午後1時より開催していますので、事前に予約の上参加してください。

入会申込書・顔写真などの必要書類の提出と、会費(年額2,000円)の納入で会員となります。

*ご興味のある方は、まずはシルバー人材センター事務局までお電話でお問い合わせください。

問合せ先：公益社団法人 宝塚市シルバー人材センター

〒665-0827 宝塚市小浜2丁目1番1号 TEL. 0797(81)7000 FAX. 0797(81)7040

<http://www.sjc-takarazuka.or.jp>



ホームページから